



平成30年3月期

ソフト99コーポレーション

第2四半期決算説明会

平成29年11月29日

- 本プレゼンテーション、および引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれております。
- この将来予測に基づく記載や発言は、製品の需要変動、景気動向、天候およびその他のリスクや不確定要素を含みます。
- 本プレゼンテーションおよび、引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、当社および当社グループ各社は、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。
- またこの記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が当社および当社グループ各社の現在の期待とは実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となりえます。

I : 企業グループの概要

株式会社 **ソフト99**コーポレーション

創 立	昭和29年(1954年)10月28日
資本金	2,310,056,000円
代表者	代表取締役社長 田中 秀明
従業員数	205名 (平成29年 9月30日現在)
事業内容	自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売

当社主要製品の歴史

1969年
「ハンネリ」



1978年
「ボデーペン」



1987年
「Tinet」



1993年
「めりめりガラコ」



1995年
「99工房シリーズ」



1999年
「フクピカwet」




2006年
「メガネのシャンプー」







関係会社一覧



社名	所在地	資本金 又は 出資金	議決権に対する 提出会社の 所有割合	関係内容
アイオン(株) 	大阪市中央区	482百万円	100.0%	不動産の賃貸 役員の兼任
アスモ(株) 	大阪市中央区	80百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
上海速特九九化工有限公司 	中華人民共和国 上海市	5,650 千米ドル	100.0%	役員の兼任
(株)ソフト99オートサービス 	大阪市中央区	50百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
(株)くらし企画 	東京都江東区	50百万円	100.0%	役員の兼任・不動産の賃貸
アライズ(株) 	大阪市中央区	50百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
(株)オレンジ・ジャパン 	東京都江東区	30百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
(株)アンテリア 	大阪市中央区	10百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸

事業セグメントの概要



ファインケミカル	カー用品（一般用・業務用）	 (株) ソフト99コーポレーション
	家庭用品等製品	
	海外事業	 上海速特九九化工有限公司
	海外カー用品輸入・販売	 (株) アンテリア
	TPMS企画・開発・販売	 (株) オレンジ・ジャパン
ポーラスマテリアル	産業資材部門	 アイオン(株)
	生活資材部門	
サービス	オートサービス事業	 (株) ソフト99オートサービス
	教習事業	 アスモ(株)
	生活用品企画販売事業	 (株) くらし企画
不動産関連	不動産賃貸事業	 (株) ソフト99コーポレーション
	温浴事業	
	介護予防支援事業	 アライズ(株)

Ⅱ：連結業績の概要

連結業績（損益：対前年同期比較）

- ファインケミカル、ポラスマテリアルの好調で増収増益。
- 事業の好調や前期の厚生年金基金解散による特別損失の影響がなくなったことにより最終利益においても増益となった。

（単位：百万円）

	平成29年3月期 2Q累計	平成30年3月期 2Q累計	対前年比・増減額	対前年比・増減率
売上高	11,057	11,666	+ 609	+ 5.5%
売上総利益	4,068	4,453	+ 385	+ 9.5%
売上総利益率	(36.8%)	(38.2%)	(+ 1.4P)	-
販売費及び一般管理費	2,927	3,029	+ 102	+ 3.5%
営業利益	1,140	1,423	283	+ 24.8%
営業利益率	(10.3%)	(12.2%)	(+ 1.9P)	-
経常利益	1,231	1,493	+ 262	+ 21.2%
税金等調整前当期純利益	1,115	1,498	+ 383	+ 34.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	824	990	+ 166	+ 20.1%

要約連結キャッシュフロー（対前年同期比較）

（単位：百万円）

	平成29年3月期 2Q累計	平成30年3月期 2Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	407	829
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲425	▲440
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲257	▲292
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲4	▲0
現金及び現金同等物の増加額（▲減少額）	▲279	96
現金及び現金同等物の期首残高	14,049	14,680
現金及び現金同等物の期末残高	13,769	14,777
減価償却費	332	333
設備投資額（※）	457	417

（※）有形固定資産の取得による支出

要約連結貸借対照表 (対前期末比較)

(単位：百万円)

	平成29年 3月末	平成29年 9月末	増減額		平成29年 3月末	平成29年 9月末	増減額
流動資産	21,887	22,746	+859	流動負債	2,771	3,425	+654
現金及び預金	15,136	15,249	+113	買入債務	1,054	1,085	+31
売上債権	3,582	4,104	+522	未払法人税等	286	533	+247
有価証券	602	401	▲201	未払金・未払費用	1,051	1,163	+112
棚卸資産	2,189	2,578	+389	その他	379	643	+264
その他	376	412	+36	固定負債	3,619	3,462	▲157
固定資産	28,782	29,393	+611	負債合計	6,390	6,888	+498
有形固定資産	21,981	22,113	+132	純資産	44,279	45,251	+972
無形固定資産	141	135	▲6	株主資本	43,738	44,486	+748
投資その他の資産	6,660	7,143	+483	その他包括利益累計額	540	765	+225
資産	50,670	52,139	+1,469	負債及び純資産	50,670	52,139	+1,469

連結ハイライト指標（対前年同期比較）



（単位：百万円）

	平成29年3月期 2Q	平成30年3月期 2Q	増減
総資産	49,307	52,139	+2,832
純資産	43,131	45,251	+2,120
自己資本比率（%）	87.5%	86.8%	▲0.7Pt
ROA（経常利益／総資産）	2.5%	2.9%	+0.4Pt
ROE（純利益／純資産）	1.9%	2.2%	+0.3Pt
1株当たり純利益（円）	38.02	45.64	+7.62
1株当たり配当（円）	10.00	11.00	+1.00
配当性向	26.3%	24.1%	▲2.2Pt

通期業績予想の修正



(単位：百万円)

	平成29年5月11日開示 (期首予想)	平成29年10月31日開示 (修正予想)	増減
連結売上高	22,600	22,950	+ 350 (+ 1.5%)
連結営業利益	2,420	2,700	+ 280 (+ 11.6%)
連結経常利益	2,570	2,850	+ 280 (+ 10.9%)
連結当期純利益	1,700	1,900	+ 200 (+ 11.8%)

Ⅲ：セグメント業績の概要

ファインケミカル（損益：対前年同期比較）



- 一般用製品（ガラスケア）、業務用製品販売、海外販売が好調で338百万円増収。
- 売上総利益は、利益率の高い業務用販売の伸長や海外事業の粗利改善により170百万円増益。

(単位：百万円)	平成29年3月期 2Q累計	平成30年3月期 2Q累計	対前年比・増減額	対前年比・増減率
売上高	5,381	5,719	+338	+6.3%
（一般用：ボディケア）	(1,017)	(970)	(▲47)	(▲4.6%)
（一般用：ガラスケア）	(1,679)	(1,756)	(+77)	(+4.6%)
（一般用：リペアグッズ）	(1,163)	(1,173)	(+10)	(+0.9%)
（業務用）	(686)	(742)	(+56)	(+8.2%)
（家庭用品等）	(233)	(235)	(+2)	(+0.9%)
（海外事業）	(580)	(806)	(+226)	(+39.0%)
（TPMS）	(49)	(59)	(+10)	(+20.4%)
（その他）※樹脂容器販売を含む	(△29)	(△24)	(+5)	(+17.2%)
売上総利益	2,570	2,740	+170	+6.6%
粗利益率（%）	47.8%	47.9%	+0.1Pt	-
営業利益	611	730	+119	+19.5%
営業利益率（%）	11.4%	12.8%	+1.4Pt	-

ポーラスマテリアル（損益：対前年同期比較）

- 産業資材の半導体用途向け製品が伸長したことを主要因に227百万円の増収。
- 売上総利益は、工場の稼働向上で原価を圧縮し133百万円の増益。

(単位：百万円)	平成29年3月期 2Q累計	平成30年3月期 2Q累計	対前年比・増減額	対前年比・増減率
売上高	2,529	2,756	+227	+9.0%
(産業資材)	(1,800)	(2,015)	(+215)	(+11.9%)
(国内)	(932)	(1,064)	(+132)	(+14.2%)
(海外)	(867)	(951)	(+84)	(+9.7%)
(生活資材)	(730)	(741)	(+11)	(+1.5%)
(国内)	(367)	(345)	(▲22)	(▲6.0%)
(海外)	(364)	(397)	(+33)	(+9.1%)
売上総利益	830	963	+133	+16.0%
粗利益率 (%)	32.8%	34.9%	+2.1Pt	—
営業利益	357	472	+115	+32.2%
営業利益率 (%)	14.1%	17.2%	+3.1Pt	—

サービス（損益：対前年同期比較）

- 自動車整備・钣金事業はコーティングなどの新規事業が好調。自動車教習事業では企業向け研修が増加し、サービスセグメント全体で45百万円の増収。
- 売上総利益は82百万円の増益となった。

（単位：百万円）	平成29年3月期 2Q累計	平成30年3月期 2Q累計	対前年比・増減額	対前年比・増減率
売上高	2,432	2,477	+ 45	+ 1.9%
（自動車整備・钣金事業）	(1,188)	(1,210)	(+ 22)	(+ 1.9%)
（自動車教習所）	(415)	(432)	(+ 17)	(+ 4.1%)
（生活用品企画販売）	(828)	(835)	(+ 7)	(+ 0.8%)
売上総利益	522	604	+ 82	+ 15.7%
粗利益率（%）	21.5%	24.4%	+ 2.9Pt	—
営業利益	42	91	+ 49	+ 116.7%
営業利益率（%）	1.7%	3.7%	+ 2.0Pt	—

不動産関連（損益：対前年同期比較）

- 温浴事業の一部店舗の設備故障の影響により不動産セグメント全体では減収となったものの不動産賃貸事業の修繕費などの費用減少により売上総利益は1百万円の増益。

(単位：百万円)	平成29年3月期 2Q累計	平成30年3月期 2Q累計	対前年比・増減額	対前年比・増減率
売上高	713	712	▲1	▲0.1%
(不動産賃貸)	(180)	(186)	(+6)	(+3.3%)
(温浴事業)	(511)	(499)	(▲12)	(▲2.3%)
(介護予防支援事業)	(21)	(26)	(+5)	(+23.8%)
売上総利益	144	145	+1	+0.7%
粗利益率(%)	20.2%	20.4%	+0.2Pt	—
営業利益	124	126	+2	+1.6%
営業利益率(%)	17.4%	17.7%	+0.3Pt	—

セグメント情報 (セグメント別売上高・営業利益比較)



(単位：百万円)

売上高	平成29年3月期 2Q累計	(全体構成比率)	平成30年3月期 2Q累計	(全体構成比率)	対前年構成比率 増減
ファインケミカル	5,381	(48.7%)	5,719	(49.0%)	+ 0.3Pt
ポーラスマテリアル	2,529	(22.9%)	2,756	(23.6%)	+ 0.7Pt
サービス・不動産関連	3,146	(28.4%)	3,190	(27.4%)	▲ 10.0Pt
合計	11,057	(100.0%)	11,666	(100.0%)	—

営業利益	平成29年3月期 2Q累計	(全体構成比率)	平成30年3月期 2Q累計	(全体構成比率)	対前年構成比率 増減
ファインケミカル	611	(53.9%)	730	(51.4%)	▲ 2.5Pt
ポーラスマテリアル	357	(31.5%)	472	(33.3%)	+ 1.8Pt
サービス・不動産関連	166	(14.6%)	217	(15.3%)	+ 0.7Pt
(※) 合計	1,140	(100.0%)	1,423	(100.0%)	—

(※) 合計には調整額を含んでおります。

株主還元の方針

- 安定的な配当の継続と連結営業利益の20%を目安とした還元を行うことを基本方針とする。
 - ✓平成29年11月1日～平成30年3月31日にかけて買付株式数上限70,000株・買付総額上限105百万円の自己株取得を実施。
 - ✓中間期の1株あたり配当金は期首予想の通り11.00円とする。
- 内部留保は、将来の事業拡大と経営体質強化に向けた投資への活用を想定する。

	平成30年3月期2Q (実績)	平成30年3月期 (予想)	進捗
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	990	1,900	52.10%
1株あたり当期純利益 (円)	45.64	87.58	52.11%
1株あたり配当金 (円)	(中間配当額) 11.00	22.00	50.00%
配当額 (百万円) <small>※平成29年9月末の株主名簿を基礎として算出。</small>	239	479	—
配当性向 (%) <small>連結ベース、配当額÷純利益</small>	24.1	25.1	—
純資産配当率 (%)	0.5	1.1	—

IV：中期経営計画進捗状況

中期経営計画の概要（1/2：経営方針）



■第5次中期経営計画「SHIFT DOWN!!」

経営理念：「生活文化創造企業」“日々の暮らしの中で役立つ新たな生活様式を創り出す企業”であり続ける。

経営課題：環境変化対応と更なる事業拡大のため、余資を活用した経営効率の改善を目指す。

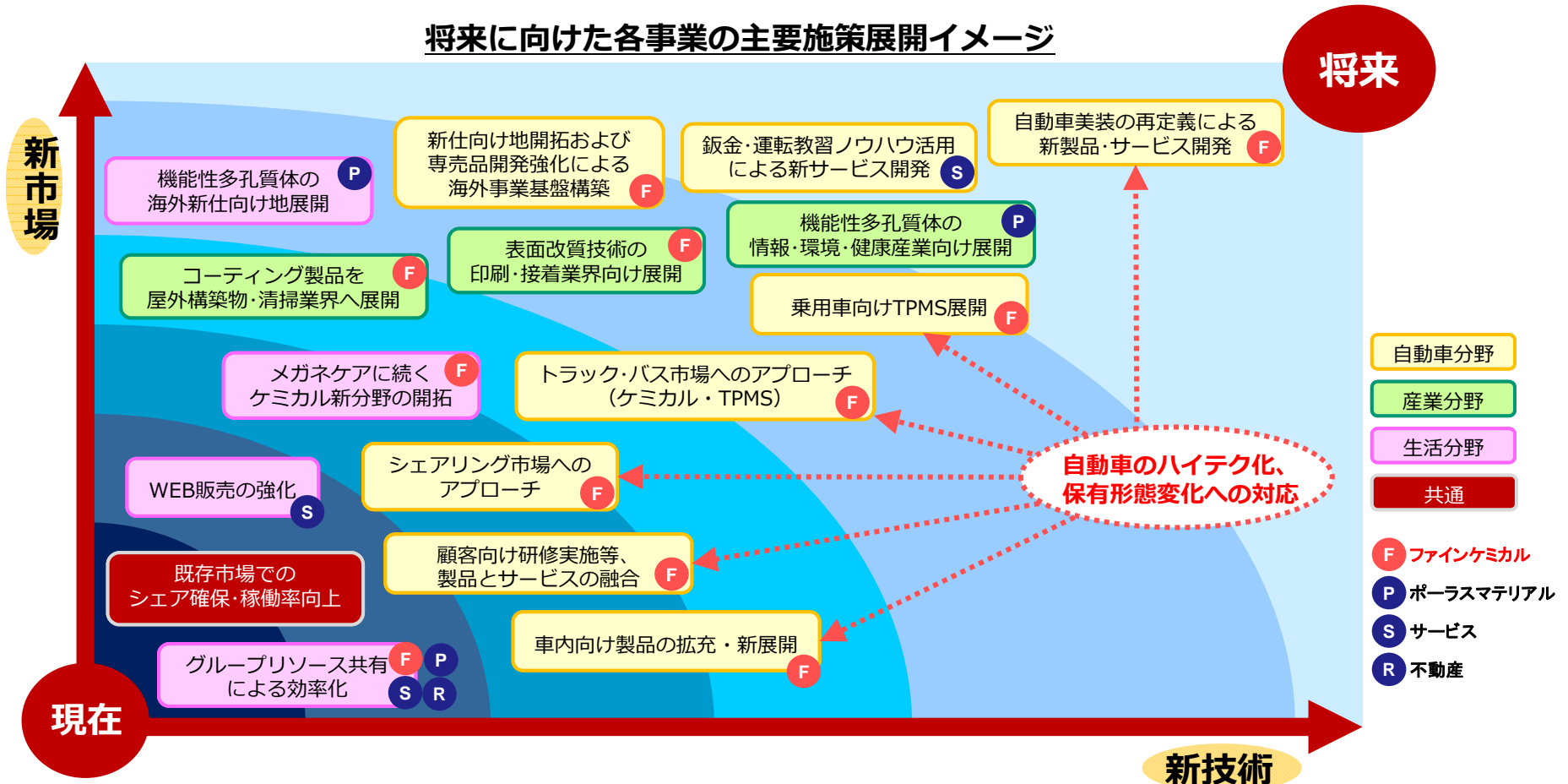
経営ビジョン・基本方針：セグメントに横串を通し、当社グループの対象市場分野毎に設定。

		ファインケミカル セグメント	ポーラスマテリアル セグメント	サービス・不動産 セグメント
自動車 分野	経営 ビジョン	自動車産業のグローバル化・自動車ハイテク化時代の到来に向け、新たな人とクルマの繋がりをつくる。		
	経営 基本方針	新時代の自動車において安心・安全・快適を実現。		
産業 分野	経営 ビジョン	表面改質と機能性精密多孔質体の技術を、幅広い産業分野における問題解決に活用する。		
	経営 基本方針	新たな柱となる市場の開拓。		
生活 分野	経営 ビジョン	日々の暮らしの中で起こる小さな悩み・ストレスを解消し、より快適な生活環境をつくる。		
	経営 基本方針	ニッチ市場での存在感確立。		

中期経営計画の概要 (2/2 : 主要施策)

- 経営基本方針に基づき、ファインケミカルセグメント・自動車分野を中心に、新市場に向けた取り組みおよび新技術への取り組みを順次展開する。

将来に向けた各事業の主要施策展開イメージ



ファインケミカル 自動車分野の主な取り組み（国内）



■自動車関連市場の変化に沿った新製品の開発と販売体制の見直しを推進。

- ① 【自動車分野】 ユーザーの志向変化に合わせた新製品の開発
- ② 【自動車分野】 一般消費者向け製品・業務用製品の垣根を取り、全製品を幅広い業態へ展開
- ③ 【自動車分野】 得意先小売店の「サービス強化」方針に合わせた製品とサービスの融合提案

① 自動車美装の再定義による 新製品・サービス開発



- 洗車場減少に合わせた『水なし洗車』製品の開発
- 業務用コーティングの施工プロセス改善の提案

① 車内向け製品の拡充・新展開



- 除菌消臭効果を付与した車内マルチクリーナーやシート防汚コーティング等、車内清掃の新ブランド展開

②③ 顧客向け研修実施等、 製品とサービスの融合



- 量販店向けに、業務用ガラスコート施工とワイパー販売のセットメニュー販売の提案
- 輸入車ディーラー向けに撥水ワイパー販売の提案

② シェアリング市場への アプローチ



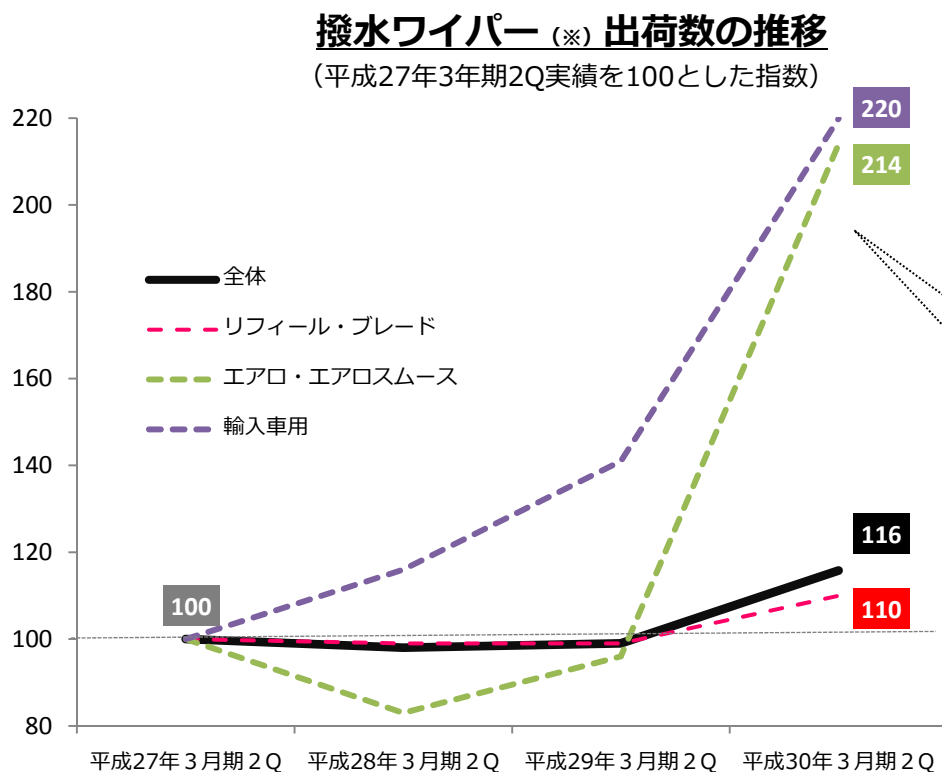
- カーシェアリング・レンタカー事業者等向けに、車両メンテナンス品質向上・効率化実現の提案

ファインケミカル 自動車分野の主な成果（国内1/2：撥水ワイパー）



■一般用製品・業務用製品のクロスセルの推進および販路共有による販売拡大

- ① 輸入車ディーラーにおいて、ワイパーの鳴きトラブル解消のためのブレード交換販売が浸透。
- ② カー用品専門店において、業務用ガラスコーティング施工サービスと撥水ワイパー販売のセットメニュー化による客単価アップ提案が拡大。



① 輸入車ディーラーにおいて、ワイパー鳴きトラブル解消のためのブレード交換のメニュー化が進んだことで販売増加。



② 量販店（カー用品専門店）において、業務用撥水ガラスコーティング施工とのセットでメニュー販売を行う店舗が増加。

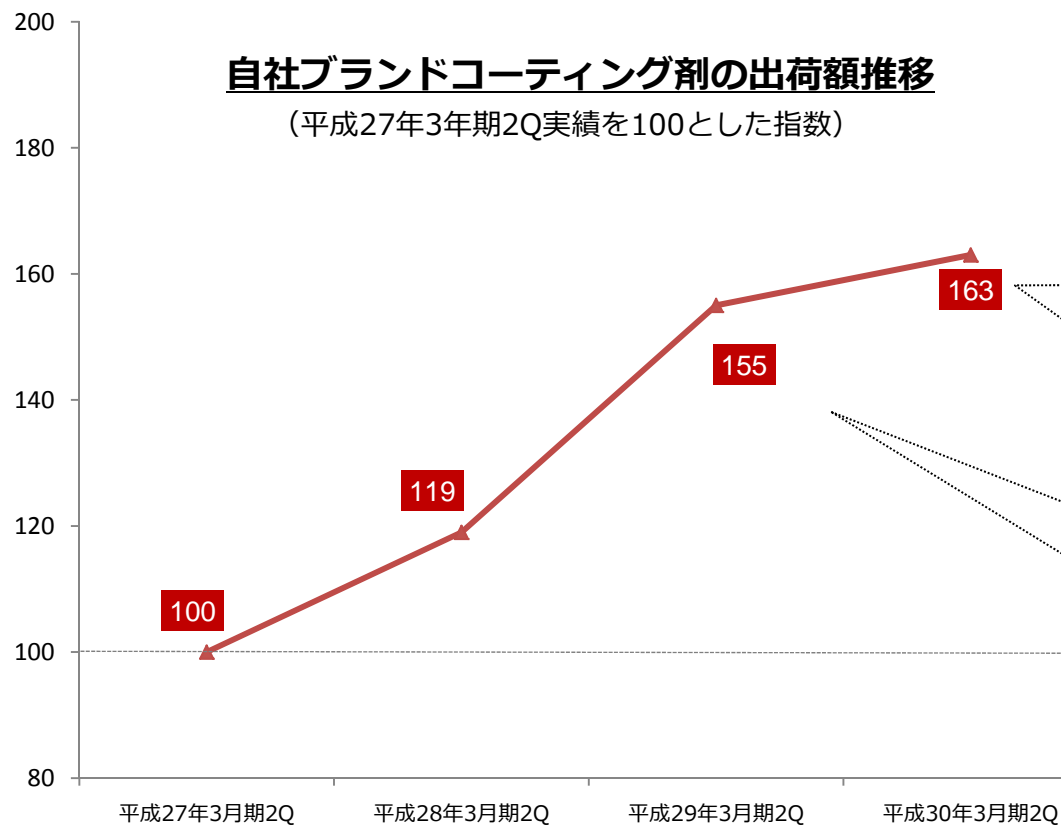


(※) グラファイト超視界シリーズ除く

ファインケミカル 自動車分野の主な成果 (国内2/2：業務用コーティング)

■ 付加価値型製品の提案による販売拡大

- ① 塗料卸・専門施工店向けに高級グレードコーティング剤の販売が増加。
- ② 前期より本格化した中古車販売店向け出荷は安定。



①

高級グレードコーティング剤『ハイモースコート』の販売が増加。



②

大手中古車販売店向けに『ニューリアルガラスコートS』の納入開始。



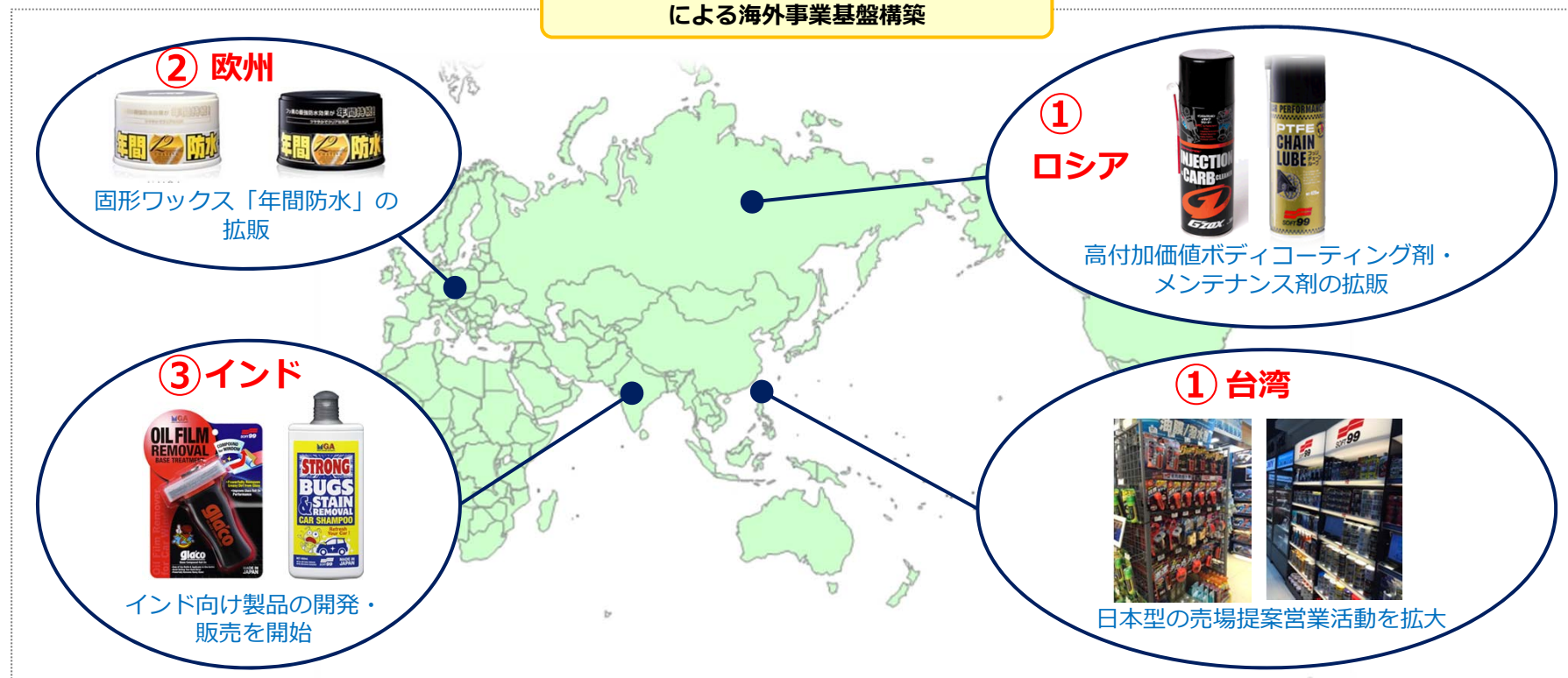
ファインケミカル 自動車分野の主な取り組み（海外）



■新たな仕向け地での販売拡大に向けた製品開発と販促を推進。

- ① 【自動車分野】 既存仕向け地（ロシア・東アジア）での販売強化
- ② 【自動車分野】 足がかりのついた欧州市場における販売強化
- ③ 【自動車分野】 インド向け製品の展開を開始

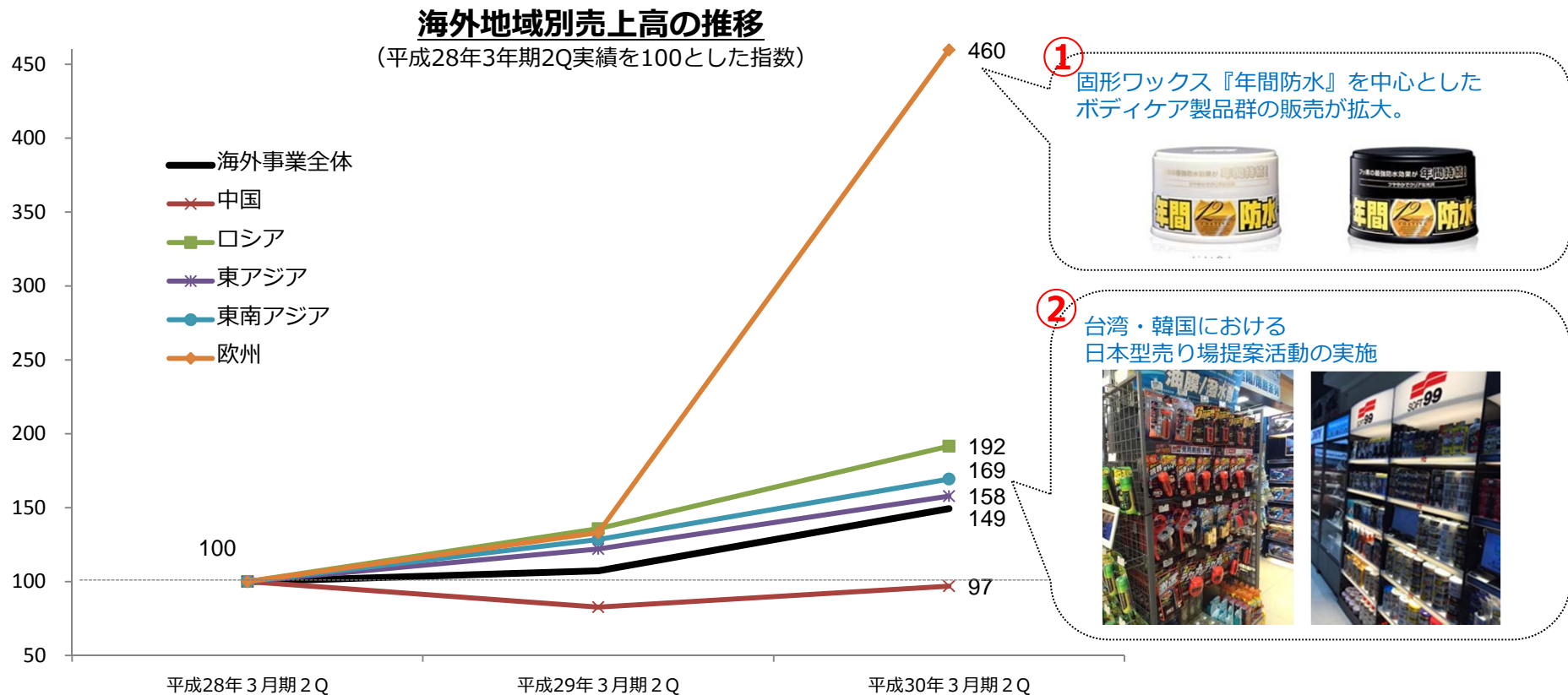
新仕向け地開拓および専売品開発強化
による海外事業基盤構築



ファインケミカル 自動車分野の主な成果（海外）

■ 既存市場の深耕

- ① 一般消費者向けボディケア製品を中心に欧州向け販売が拡大。その他地域も前期を上回る。
- ② 東アジアにおける新たな取り組みとして、現地での売場提案にまで踏み込んだ営業活動に成果。



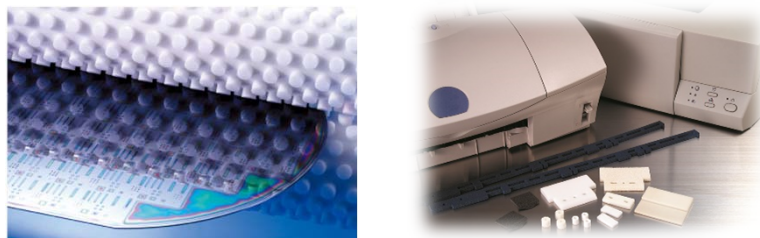
ポーラスマテリアルセグメントの主な取り組み

■ 新技術対応と新市場開拓に向けた取り組み

- ① 【産業分野】 半導体製造プロセスの集積度向上に対応した半導体洗浄技術の向上
- ② 【産業分野】 医療用途の横展開・プリンタ用途の開拓
- ③ 【生活分野】 既存製品の水回り向け新製品提案、海外向けに既存製品の横展開

機能性多孔質体の
情報・環境・健康産業向け展開

①②



- 【産業】 半導体の集積度向上への対応推進
- 【産業】 インフルエンザ検査キットに続く新たな医療用途として、吸液機器用止水弁部品の提案
- 【産業】 プリンタ用インク吸収部品への新提案

③



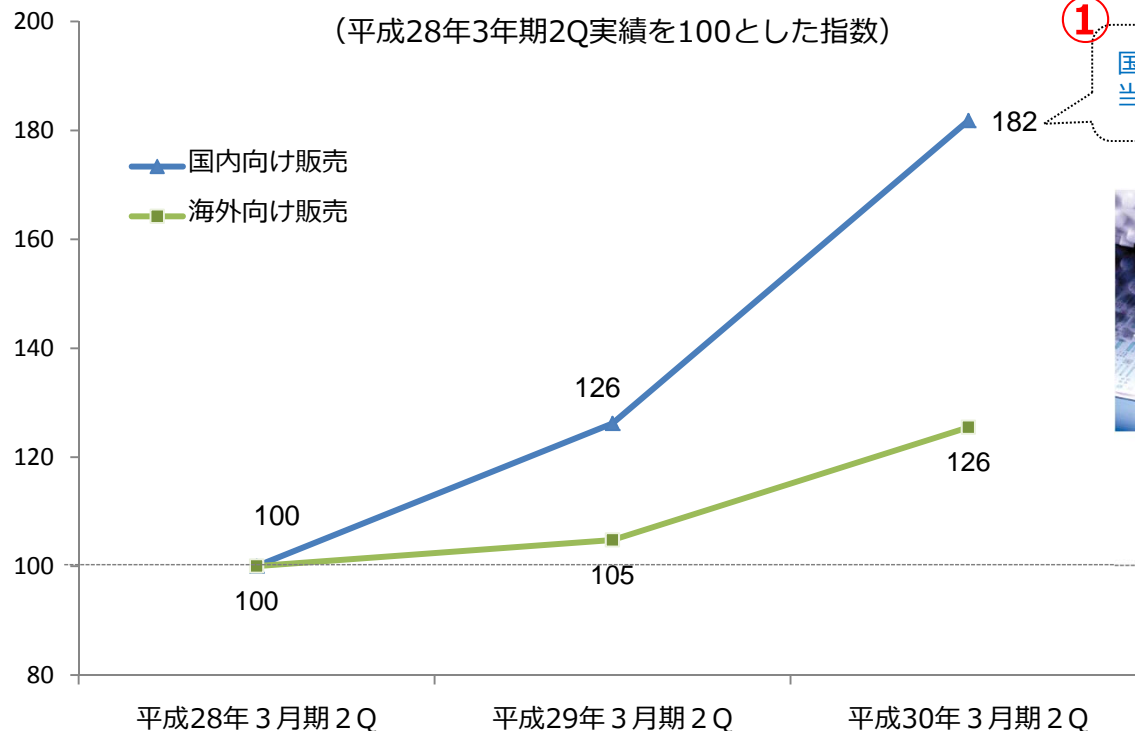
- 【生活】 水回り・結露の吸水ニーズへの対応
- 【生活】 海外向けペット用・船舶用スポンジのニーズ対応

■ 活況の半導体市場における販売拡大

- ① 国内においては、好調な半導体ニーズによる得意先の半導体製造量増加および製造設備増設に伴う洗浄資材使用量が増加。
- ② 海外半導体メーカーにおいても同様に出荷量増加。

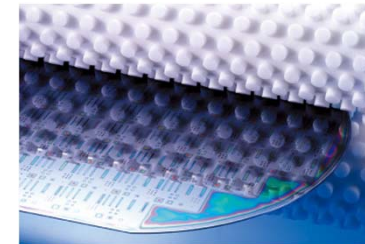
半導体洗浄用途製品 売上高の推移

(平成28年3年期2Q実績を100とした指数)



①

国内得意先の生産量増加・製造設備増設に伴う当社製品の使用量増加

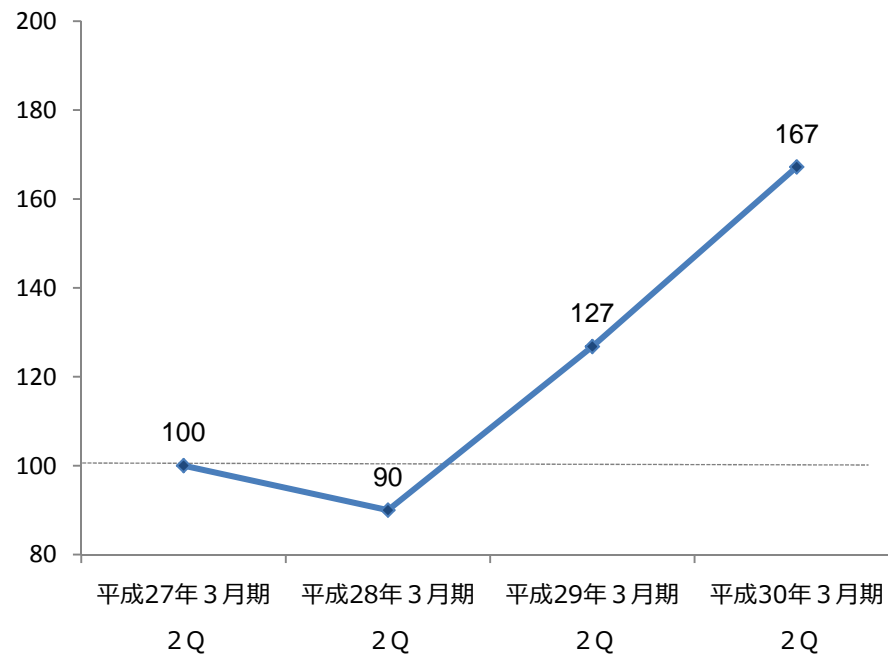


■ NDC (New Demand Creation : 新需要創出) 活動の推進

- ① 近年、インフルエンザ検査キットへの採用で足がかりのついた医療用途において、新たに吸液機器の止水弁部品として採用され、医療現場での使用が拡大。
- ② 新開発のプリンター用インク吸液部品が大手プリンターメーカー新製品に採用され、販売増加。

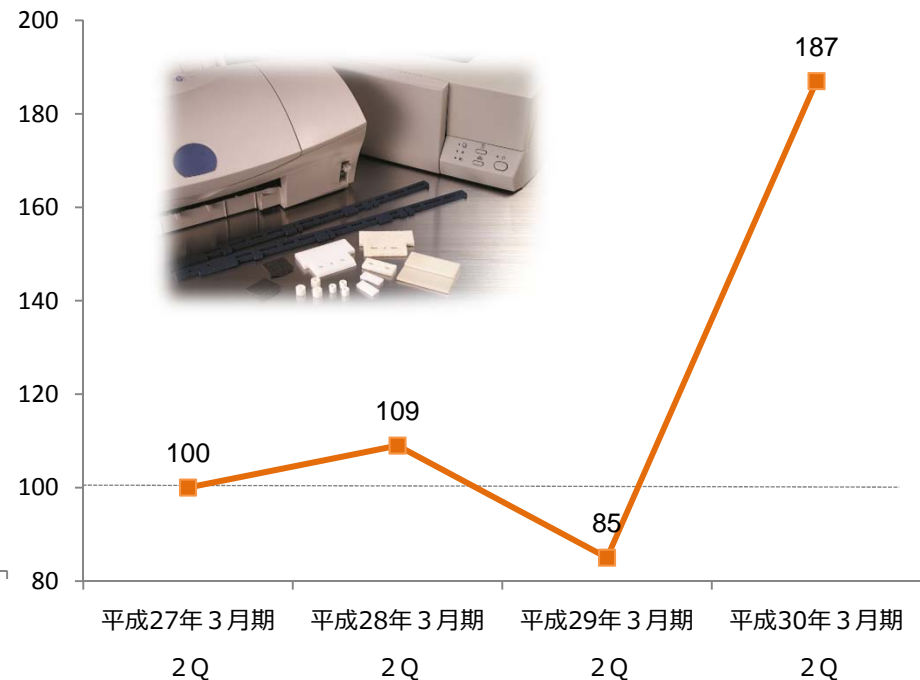
① **医療用途製品 売上高の推移**

(平成27年3年期2Q実績を100とした指数)



② **インク吸収用途製品 売上高の推移**

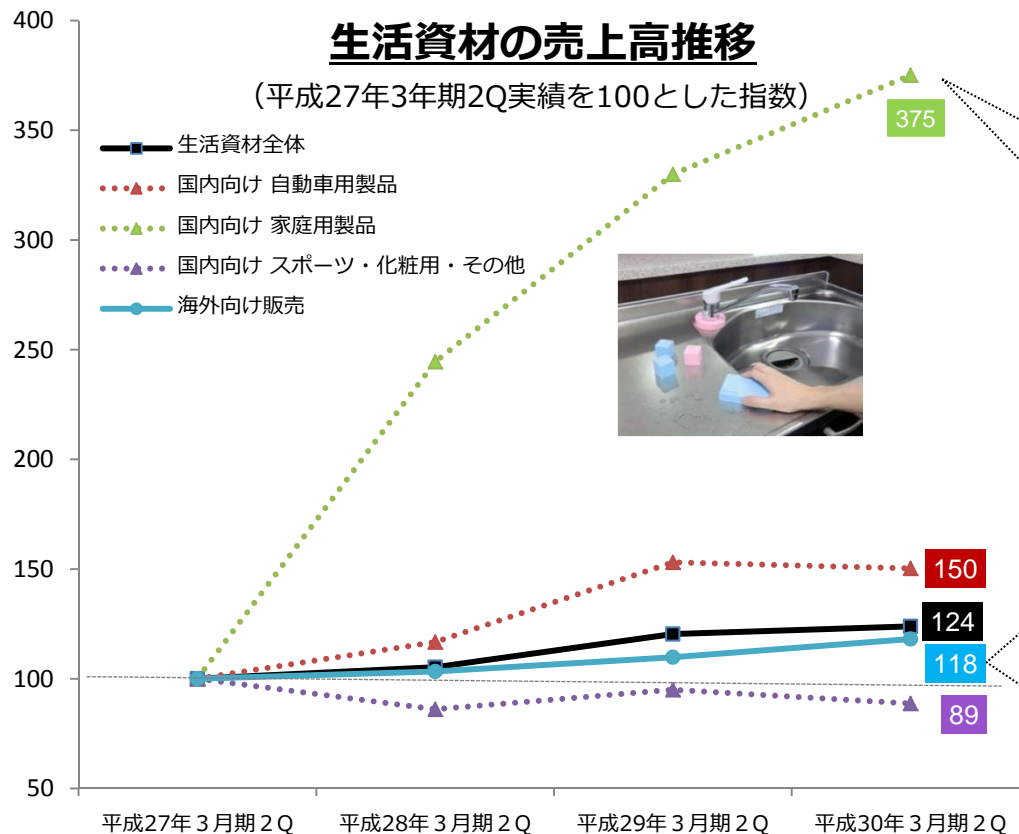
(平成27年3年期2Q実績を100とした指数)



ポーラスマテリアル 自動車・生活分野の主な成果

■ 着実なニーズ対応の進行

- ① 国内市場においては継続的な新製品投入により小売店での売場シェア維持・拡大が進む。
- ② 海外向けにおいてはアメリカでのペット用・船舶用など新用途ニーズが拡大中。



① 【国内向け 家庭用製品】
 平成28年3月期よりテレビ番組での紹介をきっかけに水回りや結露の吸水という潜在ニーズ呼び起こしに成功。その後はブロック状吸水スポンジ以外に生活シーンに合わせた各種形状の新製品を継続的に投入したことで小売店において導入が拡大。売場の維持確保が進んだ。

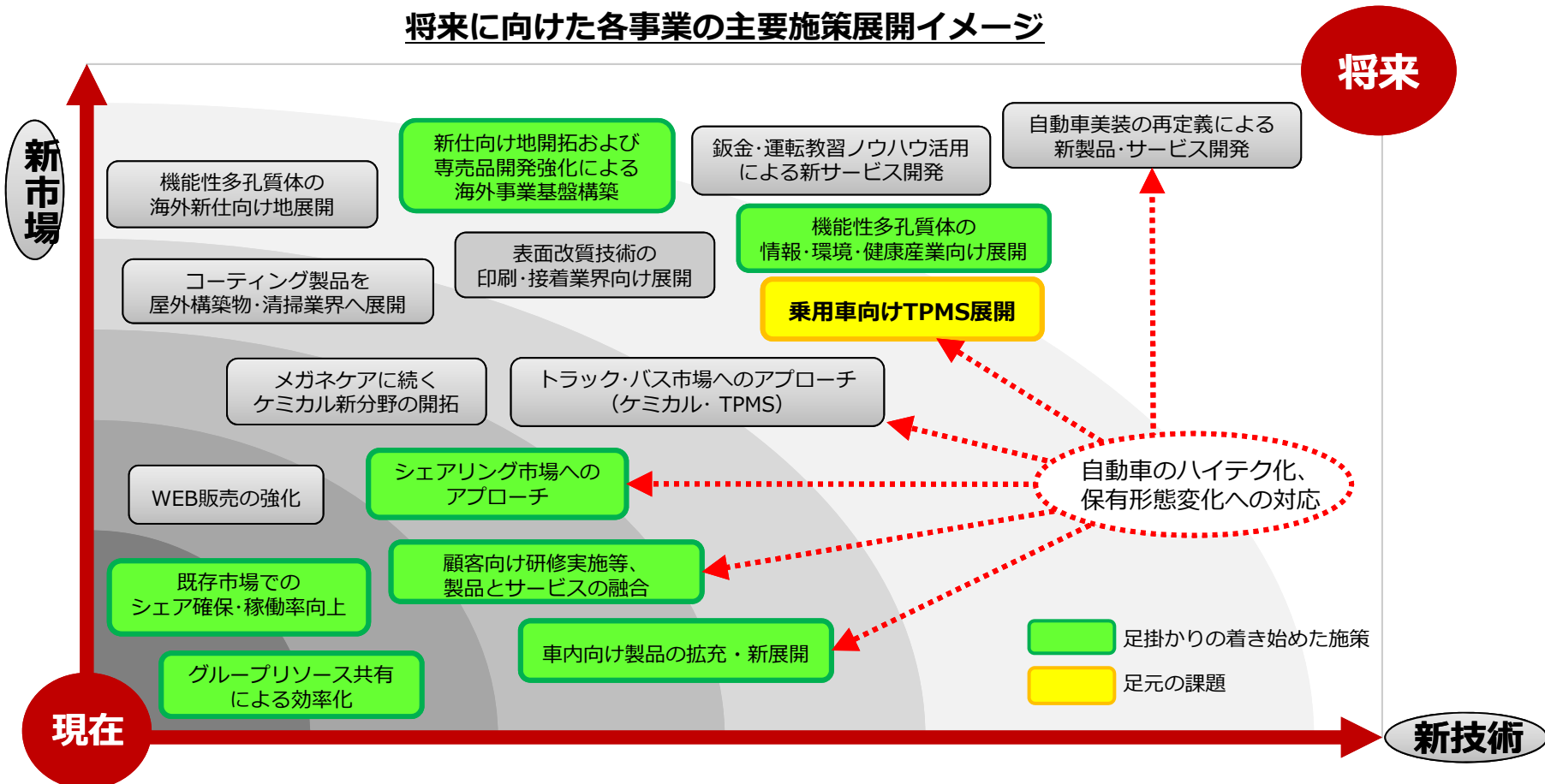
② 【海外向け】
 主要仕向け地アメリカ、インドネシアへの出荷が好調。特にアメリカでは自動車用セームのほか、ペット用や船舶用などの用途が拡大中。



当中期経営計画の全体進捗状況と足元の課題

- 新車へのTPMS搭載拡大期待に向けたTPMSの販売拡大が足元の課題。
 ⇨ 将来のTPMSセンサー交換需要に対応するアフターマーケットでの展開を目指す。

将来に向けた各事業の主要施策展開イメージ



長時間に亘り、
ご清聴ありがとうございました